

(様式第9)

岡大病総第185号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 殿

岡山大学病院長
森 田

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	107	人
--------	-----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	227人	267人	427.8人	看護業務補助	2人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	94人	70人	140.0人	理学療法士	12人	臨床検査技師	52人
薬 剤 師	48人	0人	48.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助 産 師	23人	0人	23.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看 護 師	791人	18人	803.6人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	14人	1人	14.8人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	208人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	41人	その他の職員	0人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	672.9人	15.6人	688.5人
1日当たり平均外来患者数	1,598.9人	582.5人	2,181.4人
1日当たり平均調剤数	1,232.6		剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	29人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	25人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘻痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘻痕その他の重症の瘻痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	1人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	5人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	9人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	7人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	89人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	71人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	37人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	5人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	113 人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	85 人
・多発性硬化症	58 人	・ウェゲナー肉芽腫症	15 人
・重症筋無力症	122 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	100 人
・全身性エリテマトーデス	272 人	・多系統萎縮症	44 人
・スモン	44 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5 人
・再生不良性貧血	50 人	・膿疱性乾癬	12 人
・サルコイドーシス	113 人	・広範脊柱管狭窄症	6 人
・筋萎縮性側索硬化症	60 人	・原発性胆汁性肝硬変	82 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	214 人	・重症急性膵炎	4 人
・特発性血小板減少性紫斑病	56 人	・特発性大腿骨頭壊死症	94 人
・結節性動脈周囲炎	59 人	・混合性結合組織病	32 人
・潰瘍性大腸炎	278 人	・原発性免疫不全症候群	9 人
・大動脈炎症候群	33 人	・特発性間質性肺炎	28 人
・ピュルガー病	28 人	・網膜色素変性症	46 人
・天疱瘡	41 人	・プリオン病	2 人
・脊髄小脳変性症	99 人	・原発性肺高血圧症	42 人
・クローン病	94 人	・神経線維腫症	34 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・悪性関節リウマチ	32 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5 人
・パーキンソン病関連疾患	375 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	7 人
・アミロイドーシス	6 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3 人
・後縦靭帯骨化症	98 人	・副腎白質ジストロフィー	3 人
・ハンチントン病	4 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	【病理診断部門】 ・剖検症例検討会 月1回程度 ・消化器内科+消化管外科とのカンファレンス 週1回程度 ・乳腺・内分泌外科とのカンファレンス 年4回程度 ・脳神経外科との脳腫瘍カンファレンス 月1回程度 ・婦人科との婦人科腫瘍カンファレンス 週1回程度 【臨床検査部門】 ・総合診療内科との症例検討会 月1回程度		
剖検の状況	剖検症例数	28 例	剖検率 12.8 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大型の早期大腸癌に対する細径内視鏡補助下・内視鏡的粘膜下層剥離術の有用性	浦岡 俊夫	消化器内科	千円 300	(補) 川崎医学・医療福祉学振興会教育研究助成 委
上皮成長因子受容体遺伝子改変マウスを利用した肺癌化学予防に関する基礎的研究	木浦 勝行	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科	2,210	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
異型腺腫様過形成から肺腺癌への発癌機構の解明と化学予防	瀧川奈義夫	呼吸器・アレルギー内科	650	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
気管支喘息におけるロイコトリエンB ₄ およびエフェクターT細胞の役割の検討	宮原 信明	呼吸器・アレルギー内科	2,340	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
気管支喘息の発症・難治化におけるHGFの役割解明と再生医療への応用	金廣 有彦	呼吸器・アレルギー内科	780	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
gp91phox遺伝子に対するsiRNAを用いた心不全に伴う心室性不整脈の治療	中村 一文	循環器内科	900	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
原発性肺高血圧症患者の肺動脈平滑筋細胞における異常増殖・アポトーシス低下の機序の解明	中村 一文	循環器内科	1,100	補 国立循環器病センター (委)
心サルコイドーシスにおける不整脈の検討	草野 研吾	循環器内科	1,000	補 国立循環器病センター (委)
筋萎縮性側索硬化症の分子メカニズムの解明と遺伝子・再生療法	阿部 康二	神経内科	2,800	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
変異SOD1導入グリア細胞の運動ニューロン傷害機序と細胞内骨格の動態解析	永井真貴子	神経内科	910	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
運動失調症に関する調査研究班 (班長：西澤正豊)	池田 佳生	神経内科	1,200	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究班(班長：今井尚志)	阿部 康二	神経内科	500	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究班(班長：糸山泰人)	阿部 康二	神経内科	900	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
神経変性疾患に関する調査研究 (班長：中野今治)	阿部 康二	神経内科	1,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
スモンに関する調査研究	阿部 康二	神経内科	700	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委

小計 15 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
消化器癌早期診断のためのエピジェネティックバイオマーカの開発	松原 長秀	消化管外科	千円 8,970	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ヘパラーゼの機能解析-分化誘導機能と血管新生作用の解析と制御による癌治療開発-	猶本 良夫	消化管外科	1,430	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ヒトES細胞の肝細胞分化誘導とそのバイオ人工肝臓システムへの応用	小林 直哉	消化管外科	8,060	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
大腸腫瘍に対する非侵襲的診断方法による総合的診断の確立	永坂 岳司	消化管外科	2,860	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
大腸癌幹細胞の生物学的特性の解析と新癌治療法の開発	小林 直哉	消化管外科	1,000	補 (財)ちゅうごく産業創造センター 委
ヒトES細胞の機能的肝細胞への分化誘導法の確立とその再生医療への応用	小林 直哉	消化管外科	10,270	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
埋め込み式バイオ人工膵臓による新規糖尿病治療の開発	小林 直哉	消化管外科	26,000	補 独立行政法人科学技術振興機構(JST) 委
第三世代制限増殖ウイルスベクターを用いた弥漫性胸膜中皮腫に対する新規治療法の開発	田中 紀章	肝胆膵外科	1,800	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
転移型・進行非小細胞肺癌治療のための新規ウイルス製剤及び投与方法の開発	松岡 順治	乳腺・内分泌外科	11,700	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	土井原博義	乳腺・内分泌外科	600	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療確立のための研究	尾崎 敏文	整形外科	1,050	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
変形性関節症軟骨におけるアグリカン分解機構の解明とエピジェネティック制御法の開発	西田圭一郎	整形外科	2,300	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
変性関節軟骨を三次元的に診断するX線画像撮影法の開発	国定 俊之	整形外科	1,500	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
アパタイト接着性多糖複合体を用いた高機能性硬組織セメントの開発	田中 雅人	整形外科	1,000	(補) 岡山医学振興会研究費補助金 委
三叉神経運動枝による顔面神経麻痺の新しい治療法の開発	木股 敬裕	形成外科	900	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委

小計 15 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がん外科治療における形成再建手技の確立に関する研究	木股 敬裕	形成外科	千円 14,954	補 委	厚生労働省がん研究助成金
血管付神経移植による視神経再生促進作用の解析	木股 敬裕	形成外科	100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
生存率とQOLの向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化	木股 敬裕	形成外科	2,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	10,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
EBウイルス潜伏感染と宿主免疫に起因する皮膚疾患の病態と予後の研究	岩月 啓氏	皮膚科	2,550	補 委	文部科学省科学研究費補助金
皮膚癌の免疫回避機構と腫瘍特異抗原蛋白を用いた免疫療法に関する研究	辻 和英	皮膚科	420	補 委	文部科学省科学研究費補助金
デフェンシン抗菌活性の決定因子	白藤 宣紀	皮膚科	510	補 委	文部科学省科学研究費補助金
リンパ球系悪性腫瘍に対するHDA C阻害剤の応答性のメカニズムと予測因子の解析	藤井 一恭	皮膚科	540	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性血管炎に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	岩月 啓氏	皮膚科	500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
プリオン病及び遅発性ウイルス感染に関する調査研究	黒田 重利	精神科神経科	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業：乱用薬物による神経毒性・依存症に対する診断・予防及び治療法に関する研究	氏家 寛	精神科神経科	1,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
統合失調症の症例・対照サンプルの収集および覚醒剤精神病を通じての統合失調症関連遺伝子の探索	氏家 寛	精神科神経科	728	補 委	(独)科学技術振興機構
薬物依存症および中毒性精神病に対する治療法の開発・普及と診療の普及に関する研究－薬物依存症の機序・病態における個体因子に関する研究－	氏家 寛	精神科神経科	690	補 委	国立精神・神経センター 精神・神経疾患研究委託費

小計 14 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/アルツハイマー病総合診断体系実用化プロジェクト:根本治療に向けて」の研究開発項目①「AD臨床評価の標準化研究(J-ADNI臨床研究)」	石原 武士	精神科神経科	千円 1,425	補 委 (独)新エネルギー 産業技術総合 開発機構(NEDO)
動物モデルを用いたうつ病の病因と治療についての研究	児玉 匡史	精神科神経科	1,950	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助 金
統合失調症疾患候補遺伝子DISC-1はカリリンを制御しシナプスを維持する	高木 学	精神科神経科	2,210	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
性同一性障害の分子遺伝学的研究	氏家 寛	精神科神経科	50	補 委 小林孫兵衛記念 医学振興財団
カプセル化神経幹細胞移植を用いた新しい脳卒中治療戦略	伊達 勲	脳神経外科	5,400	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
電気刺激による脳内移植細胞の分化誘導法に関する研究	杉生 憲志	脳神経外科	1,300	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
血管透過性蛋白11Rによる脳卒中の治療効果に関する研究	小野 成紀	脳神経外科	1,100	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
実験動物浸潤性脳腫瘍とマイクロアレイ法による悪性グリオーマ浸潤能規定遺伝子の同定	市川 智継	脳神経外科	1,900	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
悪性脳腫瘍幹細胞を用いた脳腫瘍動物モデルの確立と治療	神原 啓和	脳神経外科	1,300	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
オンコリティックウイルス治療における腫瘍マイクロエンバイロメントの調節	黒住 和彦	脳神経外科	1,340	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
廃用症候群に対する骨髄幹細胞移植とリハビリを用いたダブル治療	安原 隆雄	脳神経外科	1,700	補 委 文部科学省科学 研究費補助金
蛋白質セラピー法とバイオナノカプセルによる持続性脳腫瘍治療薬の開発	伊達 勲	脳神経外科	2,000	補 委 厚生労働科学研 究費補助金
咽頭冷却による選択的脳冷却法の臨床応用を目的とした研究	伊達 勲	脳神経外科	1,000	補 委 厚生労働科学研 究費補助金
正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究	伊達 勲	脳神経外科	500	補 委 厚生労働科学研 究費補助金

小計 14 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	伊達 勲	脳神経外科	千円 1,000	補 厚生労働省 精神・神経疾患 研究委託費
びまん性軸索損傷に対するヒト神経幹細胞動注療法	安原 隆雄	脳神経外科	500	補 山陽放送学術文 化財団学術研究 助成金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	44,955	補 厚生労働科学研 究費補助金
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学・感染予防・制御に関する研究	森島 恒雄	小児科	16,225	補 厚生労働科学研 究費補助金
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	1,000	補 厚生労働科学研 究費補助金
小児における急性脳炎・脳症の病態・診断・治療に関する研究	森島 恒雄	小児科	28,860	補 文部科学省科学 研究費補助金
骨髄間葉系幹細胞のユーイング肉腫に対する抗腫瘍効果	宮村 能子	小児科	1,430	補 文部科学省科学 研究費補助金
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	大塚 頌子	小児神経科	500	補 厚生労働科学研 究費補助金
胸部悪性腫瘍のラジオ波焼灼療法に関する研究	金澤 右	放射線科	6,000	補 厚生労働科学研 究費補助金
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	三村 秀文	放射線科	6,000	補 厚生労働科学研 究費補助金
人工筋肉を用いた、麻痺手を動かすシステムに関する研究	千田 益生	総合リハビリテーション部	1,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
胃癌に対する5-アミノレブリン酸(5-ALA)を用いた光力学診断(PDD)の有用性の検討	河原 祥朗	光学医療診療部	500	補 内視鏡医学研究 財団
血清遊離メチル化DNAを用いた塵肺合併肺癌の早期発見	田端 雅弘	腫瘍センター	1,040	補 文部科学省科学 研究費補助金
携帯TV電話／無線LANと地域情報ハイウェイを活用した地域医療支援システムの研究開発(総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE-C))	岡田 宏基	総合患者支援センター	12,800	補 総務省
テノメラーゼ依存症ウイルス製剤の悪性中皮腫の分子病態に基づく診断・治療への応用	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	6,240	補 文部科学省科学 研究費補助金

小計 15 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
微小リンパ節転移を標的とする選択的ウイルス療法による消化器癌治療の低侵襲化の試み	香川 俊輔	遺伝子・細胞治療センター	千円 1,430	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	1,975	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
遺伝子・細胞治療に携わる臨床研究者育成	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	2,000	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
進行食道癌に対す売るテロメラーゼ活性を標的とする新規アデノウイルス製剤の創薬研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	5,500	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	26,400	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
ナノバイオ・ウイルス製剤と放射線の相互作用機構に関する研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	7,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
指尖毛細管採血による血漿抗体価測定を用いた歯周病細菌感染度の判定法の研究	高柴 正悟	歯周科	8,600	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
口腔ケアのための抗菌物質デリバリーシステムの開発	谷本 一郎	歯周科	1,600	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
歯周病等の口腔内感染巣が白血病治療患者の好中球減少性発熱に及ぼす影響	曾我 賢彦	歯周科	1,200	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
口腔内細菌叢の変化を指標にした後期高齢者の老人性肺炎の予知診断システムの開発	高柴 正悟	歯周科	15,750	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
唾液腺幹細胞を用いた唾液腺機能再生に関する研究	峯柴 淳二	歯周科	500	(補) (財)小林孫兵衛記念医学振興財団 委
上皮間葉相互作用を模倣した歯胚再生モデルに関する研究-歯原性組織の器官培養と胚性幹(ES)細胞を利用した歯胚再生とマスターキー遺伝子の解析-	窪木 拓男	補綴科 (ク라운ブリッジ)	7,930	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
三叉神経痛において生じている一次侵害受容神経過敏化のメカニズムの解明と治療法開発	松香 芳三	補綴科 (ク라운ブリッジ)	4,160	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
発生過程を再現する象牙質再生技術の開発-歯胚や歯髄の不死化細胞樹立とその応用	完山 学	補綴科 (ク라운ブリッジ)	4,550	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
アパタイトコーティング層の微細構造制御による新しい生体活性型インプラント	前川 賢治	補綴科 (ク라운ブリッジ)	2,600	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委

小計 15 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
歯髄幹細胞と歯根膜幹細胞を用いた機能的歯根再生の実現	園山 亘	補綴科 (クラウンブリッジ)	千円 11,180	(補) 日本学術振興会 科学研究費補助金 委
口蓋裂発生の機序解明の新展開-口蓋突起癒合時の上皮索基底膜の動態からの研究-	菅原 利夫	口腔外科 (再建系)	3,200	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
新規コーティング材による歯科チタンインプラント骨結合能の三次元解析	高木 慎	口腔外科 (再建系)	3,770	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
口蓋癒合後の解離による口蓋裂発症メカニズムの解析	山田 朋弘	口腔外科 (再建系)	3,250	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
パールカン- SHH相互作用を介した細胞外環境による歯根形態形成制御機構の解明	松村 達志	口腔外科 (再建系)	3,250	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
再生骨の立体構造制御における血管新生因子動態の解明と新規関連遺伝子の同定	森谷 徳文	口腔外科 (再建系)	3,302	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
口腔領域におけるダイナミックMRIに関する研究	浅海 淳一	歯科放射線・ 口腔診断科	1,820	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
癌幹細胞が上皮間充織転換に及ぼす影響に関する研究	柳 文修	歯科放射線・ 口腔診断科	910	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
唾液腺腫瘍におけるdynamic CE-MRIを用いた良悪性の鑑別	久富 美紀	歯科放射線・ 口腔診断科	1,040	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
テーラーメイド医療に向けたDNAエピジェネティクス定量	松崎 秀信	歯科放射線・ 口腔診断科	1,430	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委
癌幹細胞の同定法の確立による新しい転移阻害予測法の開発	村上 純	歯科放射線・ 口腔診断科	910	(補) 文部科学省科学 研究費補助金 委

小計 11 件

合計 99 件

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Med Okayama 63:35-42, 2008	Olmesartan and temocapril prevented the development of hyperglycemia and the deterioration of pancreatic islet morphology in Otsuka-Long-Evans-Tokushima Fatty rats	Nakamura Y	総合診療内科
J Obstet Gynaecol Res 34:890-897, 2008	Increased arterial stiffness in female-to-male transsexuals treated with androgen	Nakamura Y	総合診療内科
Biomaterials 29(11):1664-1675, 2008	Preparation and cytotoxic activity of poly(ethylene glycol) - modified poly(amidoamine) dendrimers bearing adriamycin	Kiura T	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
J Thorac Oncol 3(4):386-393, 2008	A randomized, double-blind, phase IIa dose-finding study of vandetanib(ZD6474) in Japanese patients with non-small cell lung cancer.	Kiura T	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Int J Hematol 87:393-397, 2008	Increased incidence of interstitial pneumonia by CHOP combined with rituximab.	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Respirology 13:654-663, 2008	Inflammatory markers in exhaled breath condensate from patients with asthma.	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
J Clin Oncol 26(28):4695-4696, 2008	Dose rituximab really induce hepatitis C virus reactivation?	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Cancer Sci 99(9):1747-1753, 2008	Induction of lung adenocarcinoma in transgenic mice expressing activated EGFR driven by the SP-C promoter	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Int Hematol 88:409-417, 2008	Current and future perspectives on the TARGET system: the registration system for Glivec® established by the JSH	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
J Clin Exp Hematopathol 48(1):17-24, 2008	Different histopathological types of orbital lymphoma 16 years after systemic follicular lymphoma: immunohistochemical and immunogenetic analyses of two cases	Shinagawa K	血液・腫瘍内科
Int J Hematol 88:588-595, 2008	Use of micafungin versus fluconazole for antifungal prophylaxis in neutropenic patients receiving hematopoietic stem cell transplantation	Maeda Y	血液・腫瘍内科
Cancer Letters 270:19-29, 2008	Identification of CD123 ⁺ myeloid dendritic cells as an early-stage immature subset with strong tumorigenic potential.	Maeda Y	血液・腫瘍内科
Int Arch Allergy Immunol 146(1):82-87, 2008	Anti-Allergic inflammatory effects of Kεpatoocyte growth factor.	Kanehiro A	呼吸器・アレルギー内科
Lung Cancer 62:236-241, 2008	Association of the benefit from gefitinib monotherapy with smoking status in Japanese patients with non-small-cell lung cancer.	Hotta K	呼吸器・アレルギー内科
Carcinogenesis 29(9):1845-1849, 2008	Aberrant promoter hypermethylation in serum DNA from patients with silicosis	Takigawa N	呼吸器・アレルギー内科
Clin Exp Nephrol 12:1-8, 2008	Chronic kidney disease perspectives in Japan and the importance of urinalysis screening	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科

小計 16 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Nephrol 12:421-431, 2008	Proposal of podocytic infolding glomerulopathy as a new disease entity: a review of 25 cases from nationwide research in Japan	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Expert Opin Investig Drugs 17(3):327-333, 2008	Vaspin: a novel serpin with insulin-sensitizing effects	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Exp Biol Med (Maywood) 233(1), 4-11, 2008	Diabetic nephropathy: mechanism of renal disease progression.	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Matrix Biology 27:211-219, 2008	Procollagen C-proteinase enhancer-1 (PCPE-1) interacts with β 2-microglobulin (β 2-m) and may help initiate β 2-m amyloid fibril formation in connective tissues	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Hypertens Res 31:51-58, 2008	The MUSCAT Study: A Multicenter PROBE Study Comparing the Effects of Angiotensin II Type-1 Receptor Blockers on Self-Monitored Home Blood Pressure in Patients with Morning Hypertension: Study Design and Background Characteristics	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Journal of Endocrinology 196:601-613, 2008	Simvastatin antagonizes tumor necrosis factor- α inhibition of bone morphogenetic proteins-2-induced osteoblast differentiation by regulating Smad signaling and Ras/Rho-mitogen-activated protein kinase pathway	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetes Research and Clinical Practice 80:e1-e5, 2008	Comparison of serum uric acid levels between Japanese with and without metabolic syndrome	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin Exp Nephrol 12:277-291, 2008	Renal pathology of ANCA-related vasculitis: proposal for standardization of pathological diagnosis in Japan	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Am J Nephrol 28:661-668, 2008	Increased Susceptibility to Oxidant-Mediated Tissue Injury and Peritoneal Fibrosis in Acatalasemic Mice	Sugiyama H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Endocrinology 149:2816-2825, 2008	Aldosterone Breakthrough Caused by Chronic Blockage of Angiotensin II Type 1 Receptors in Human Adrenocortical Cells: Possible Involvement of Bone Morphogenetic Protein-6 Actions	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Cell Transplantation, 17:143-158, 2008	Amelioration of Cisplatin-Induced Acute Renal Injury by Renal Progenitor-Like Cells Derived From the Adult Rat Kidney	Kitamura S	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Journal of Endocrinology 197:159-169, 2008	Involvement of bone morphogenetic protein-4 in GH regulation by octreotide and bromocriptine in rat pituitary GH3 cells	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Nephrology 13:278-283, 2008	Glycated albumin levels predict long-term survival in diabetic patients undergoing haemodialysis	Nakao K	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Proc Natl Acad Sci USA 105(39):15040-15045, 2008	Identification of amino acids essential for the antiangiogenic activity of tumstatin and its use in combination antitumor activity	Maeshima Y	腎臓・糖尿病・内分泌内科

小計 14 件

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Oncol 33(1):33-40, 2008	Tum-1, a tumstatin fragment, gene delivery into hepatocellular carcinoma suppresses tumor growth through inhibiting angiogenesis	Maeshima Y	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Int J Cancer 15:122(8)1738-1744, 2008	Type IV collagen alpha6 chain-derived noncollagenous domain 1 (alpha6(IV)NC1) inhibits angiogenesis and tumor growth.	Maeshima Y	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Journal of Endocrinology 199:445-455, 2008	Bone morphogenetic protein 6 (BMP6) and BMP7 inhibit estrogen-induced proliferation of breast cancer cells by suppressing p38 mitogen-activated protein kinase activation	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Endocrinology 150:1921-1930, 2009	p38-mitogen-activated protein kinase stimulated steroidogenesis in granulosa cell-oocyte co-cultures: role of bone morphogenetic protein (BMP)-2 and -4	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Hum Mutat 29(2):331-340, 2008	Novel mutations of the GLA gene in Japanese patients with Fabry disease and their functional characterization by active site specific chaperone	Sugiyama H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin Exp Nephrol 12:450-454, 2008	Unique microstructures and podocytic infolding in glomerular basement membrane associated with collagen diseases: a report of three cases.	Sugiyama H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Am Soc Nephrol 19(12), 2293-2301, 2008	Amelioration of high glucose-induced renal cell mitochondrial dysfunction by Rap1b GTPase	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Hum Genet 53(6), 546-553, 2008	Variations in the FTO gene are associated with severe obesity in the Japanese.	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Hum Genet 53(9), 857-862, 2008	INSIG2 gene rs7566605 polymorphism is associated with severe obesity in Japanese	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Circulation 118:2146-2155, 2008	Collectrin is involved in the development of salt-sensitive hypertension by facilitating the membrane trafficking of apical membrane proteins via interaction with SNARE complex	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Endocrine Journal 55:175-181, 2008	A Rare Tumor in the Adrenal Region: Neuron-specific Enolase (NSE)-Producing Leiomyosarcoma in an Elderly Hypertensive Patient	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Endocrine Journal 56:157-160, 2009	Effects of growth hormone reduction in a patient with polycystic ovary syndrome complicated with acromegaly	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Nephrology Dialysis and Transplantation 23(2):751-756, 2008	A novel variant apolipoprotein E Okayama in a patient with lipoprotein glomerulopathy	Sugiyama H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Med Case Reports 2:352, 2008	Bilateral dystonia in type 1 diabetes: a case report.	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Cardiovasc Electrophysiol. 2008 Jan;19(1):56-61.	Clinical significance of macroscopic T-wave alternans after sodium channel blocker administration in patients with Brugada syndrome.	Kusano KF	循環器内科

小計 15 件

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Circ J. 2008 Feb;72(2):262-7.	Usefulness of a long-straight sheath for atrial lead insertion at the right atrial septum.	Kusano KF	循環器内科
Herat Rhythm. 2008 May;5(5):725-33.	Repolarization heterogeneity in the right ventricular outflow tract: correlation with ventricular arrhythmias in Brugada patients and in an in vitro canine Brugada model.	Morita H	循環器内科
J Am Coll Cardiol. 2008 Mar 25;51(12):1169-75.	Atrial fibrillation in patients with Brugada syndrome relationships of gene mutation, electrophysiology, and clinical backgrounds.	Kusano KF	循環器内科
J Am Coll Cardiol. 2008 Mar 25; 51(12): 1154-61.	Longer repolarization in the epicardium at the right ventricular outflow tract causes type 1 electrocardiogram in patients with Brugada syndrome.	Nagase S	循環器内科
Brain Res. 10:1-8, 2008	Reduction of cerebral infarction in rats by biliverdin associated with amelioration of oxidative stress.	Deguchi K	神経内科
Neurol. Res. 30:731-739, 2008	Sendai virus-mediated gene transfer of GDNF reduces AIF translocation and ameliorates ischemic cerebral injury.	Deguchi K	神経内科
Neurol. Res. 30:860-867, 2008	Differentiation of PA from early PSP with different patterns of symptoms and CBF reduction.	Kurata T	神経内科
Cerebellum 7:150-158, 2008	Bidirectional expression of the SCA8 expansion mutation: one mutation, two genes.	Ikeda Y	神経内科
J. Neurosci. Res. 928-936, 2008	Progressive Decrease in the Level of YAPdeltaCs, Prosurvival Isoforms of YAP, in the Spinal Cord of Transgenic Mouse Carrying a Mutant SOD1 Gene	Nagai M	神経内科
J. Neurosci. Res. 86:3028-3037, 2008	Therapeutic benefits of intrathecal protein therapy in a mouse model of amyotrophic lateral sclerosis	Nagai M	神経内科
Neurochem. Res. 2008	Therapeutic Strategy for Ischemic Stroke.	Yamashita T,	神経内科
Curr. Neurovasc. Res. 5:112-117, 2008	Gelatin-siloxane hybrid scaffolds with vascular endothelial growth factor induces brain tissue regeneration.	Deguchi K	神経内科
Int J Oncol, 32(4):791-796, 2008	Localization of FAK is related with colorectal carcinogenesis	Naomoto Y	消化管外科
Int J Cancer, 122(11):2429-2436, 2008	Methylation pattern of the O6-methylguanine-DNA methyltransferase gene in colon during progressive colorectal tumorigenesis.	Nagasaka T	消化管外科
Clin Cancer Res, 14(14):4631-4639, 2008	Dual tyrosine kinase inhibitor for focal adhesion kinase and insulin-like growth factor-I receptor exhibits anticancer effect in esophageal adenocarcinoma in vitro and in vivo.	Naomoto Y	消化管外科

小計 15 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastroenterology, 134:1950-1960, 2008	Mutations in both KRAS and BRAF contribute to the methylator phenotype in colon cancer.	Nagasaka T	消化管外科
Oncol Rep. 20(6):1473-1477, 2008	TAE226, a dual inhibitor for FAK and IGF-IR, has inhibitory effects on mTOR signaling in esophageal cancer cells	Naomoto Y	消化管外科
Cancer Res. 68(20):8465-8472, 2008	Genetic instability caused by loss of MutS homologue 3 in human colorectal cancer.	Nagasaka T	消化管外科
Int J Cancer, 123(7):1556-64, 2008	Molecular characteristics and predictors of survival in patients with malignant neuroendocrine tumors	Nagasaka T	消化管外科
Hepatology, 47(3):908-18, 2008	Aberrant methylation of multiple tumor suppressor genes in aging liver, chronic hepatitis, and hepatocellular carcinoma.	Nagasaka T	消化管外科
外科治療, 99(1):101-105, 2008	食道癌術後合併症としての深部静脈血栓症の診断・治療およびリスク評価	藤原 康宏	消化管外科
外科治療, 99(2):205-208, 2008	胸部食道癌に重複した頭頸部癌の検討	白川 靖博	消化管外科
Cell Transplant, 17(1-2):187-193, 2008	Laparoscopy-assisted creation of a liver failure model in pigs	Kobayashi N	消化管外科
Cell, Transplant, 17(1-2):111-119, 2008	Reestablishment of microenvironment is necessary to maintain in vitro and in vivo human islet function	Kobayashi N	消化管外科
Cell Transplant, 17(1-2):27-33, 2008	Long-term culture of Japanese human embryonic stem cells in feeder-free condition	Kobayashi N	消化管外科
Cell Transplant, 17(1-2):19-25, 2008	Cancer stem cell research: current situation and problems	Kobayashi N	消化管外科
Acta Med Okayama, 62(2):63-68, 2008	Endoterm induction for hepatic and pancreatic differentiation of ES cells	Kobayashi N	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):3-9, 2008	Artificial cells for the development of cell therapy.	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):11-17, 2008	Bioartificial pancreas for the treatment of diabetes	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):69-81, 2008	Ductal injection of preservation solution increases islet yields in islet isolation and improves islet graft function	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):91-97, 2008	Cell surface heparan sulfate proteoglycans mediate the internalization of PDX-1 protein	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):121-128, 2008	Secretory unit of islet in transplantation (SUIT) and engrafted islet rate (EIR) indexes are useful for evaluating single islet transplantation.	Naoya Kobayashi,	消化管外科

小計 17 件

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cell Transplantation 17(1-2):165-171, 2008	Immortalized hepatocytes using human artificial chromosome	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Journal of hepato-biliary-pancreatic surgery 2008	Life support of artificial liver: development of a bioartificial liver to treat liver failure	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):19-25, 2008	Cancer stem cell research: current situation and problems	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):27-33, 2008	Long-term culture of Japanese human embryonic stem cells in feeder-free conditions	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Cell Transplantation 17(1-2):111-119, 2008	Reestablishment of microenvironment is necessary to maintain in vitro and in vivo human islet function	Naoya Kobayashi,	消化管外科
Gastroenterology, 134(7):1981-1993, 2008	The essential role of fibroblasts in esophageal squamous cell carcinoma-induced angiogenesis.	Noma K,	消化管外科
新医療, 35(5):108-112, 2008	癌幹細胞研究の現状と大腸癌治療への応用	小林 直哉、	消化管外科
再生医療, 7(2):188-192, 2008	肝臓領域から iPS細胞と肝疾患	小林 直哉、	消化管外科
肝胆膵, 57(3):467-477, 2008	胚性幹細胞に着目したバイオ人工肝臓の開発の試み	小林 直哉	消化管外科
炎症と免疫, 16(1):62-67, 2008	糖尿病に対する再生医療学的アプローチ	小林 直哉	消化管外科
移植, 43(1):17-25, 2008	ヒトES細胞と再生医療	小林 直哉	消化管外科
J Pediatr Surg, 43(3):518-521, 2008	Evaluation of the Nuss procedure using pre- and postoperative computed tomographic index.	Tanaka N	肝胆膵外科
mononuclear cells. Shock, 29(2):154-159, 2008	Stimulation of adenosine A2A receptor inhibits LPS-induced expression of intercellular adhesion molecule 1 and production of TNF-alpha in human peripheral blood	Tanaka N	肝胆膵外科
Acta Med Okayama, 62(2):69-74, 2008	Preoperative oral administration of pentoxifylline ameliorates respiratory index after cardiopulmonary bypass through decreased production of IL-6.	Tanaka N	肝胆膵外科
Transplantation, 85(9):1240-1245, 2008	The impact of donor age on the outcome of adult living donor liver transplantation	Yagi T,	肝胆膵外科
Transpl Int, 21(2):156-162, 2008	The outcome of living donor liver transplantation with prior spontaneous large portasystemic shunts	Sadamori H	肝胆膵外科
Int J Mol Med, 21(1):75-81, 2008	Increased exhaled carbon monoxide concentration during living donor liver transplantation.	Yagi T,	肝胆膵外科

小計 17 件

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatogastroenterology, 55(82-83):363-366, 2008	Successful re-transection of conglutinated hepatic resection plane for repeated systematized hepatectomy	Sadamori H	肝胆膵外科
World J Surg, 32(11):2419-2424, 2008	Preoperative Assessment of the Risk Factors that Help to Predict the Prognosis After Living Donor Liver Transplantation,	Yagi T,	肝胆膵外科
Transplantation, 86(5):673-680, 2008	Effects of prophylactic splenic artery modulation on portal overperfusion and liver regeneration in small-for-size graft	Yagi T,	肝胆膵外科
Int J Mol Med. , 21(1):75-81, 2008	Increased exhaled carbon monoxide concentration during living donor liver transplantation	Yagi T,	肝胆膵外科
Gastrointest Endosc, 67(7):1172-1173, 2008	Cholesterolosis of the common bile duct with anomalous arrangement of the pancreaticobiliary ductal system	Yagi T	肝胆膵外科
Gastroenterol, 43(3):239-242, 2008	A 27-year-old man who died of acute liver failure probably due to trichloroethylene abuse,J	Yagi T	肝胆膵外科
手術, 62(10):1465-1470, 2008	肝硬変合併肝細胞癌に対するGlisson処理を先行したS2亜区域切除.	貞森 裕	肝胆膵外科
Int J Mol Med, 22(2):199-203, 2008	M-RIP, a novel target of JNK signaling and a requirement for human cancer cell invasion.	Matsuoka J,	乳腺・内分泌外科
Cancer Res, 68(17):7120-7129, 2008	Malignant pleural mesothelioma-targeted CREBBP/EP300 inhibitory protein 1 promoter system for gene therapy and virotherapy.	Matsuoka J	乳腺・内分泌外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56:134-136, 2008	Blunt cardiac rupture in a patient with a history of total correction of tetralogy of Fallot	Sano S	心臓血管外科
Circulation Journal 72:1178-1184, 2008	Effects of HMGB1 on ischemia-reperfusion injury in the rat heart	Sano S	心臓血管外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56:163-169, 2008	Pharmacokinetic analysis of flomoxef in children undergoing cardiopulmonary bypass and modified ultrafiltration	Sano S	心臓血管外科
European Journal of Cardio-thoracic Surgery 34:1111-1112, 2008	Staged Fontan's operation for unguarded tricuspid orifice with pulmonary atresia	Sano S	心臓血管外科
Asian Cardiovascular and Thoracic Annals 16:324-326, 2008	Anomalous left coronary artery from non-facing pulmonary sinus	Sano S	心臓血管外科
Circulation Journal 72:1476-1480, 2008	Effect of modified ultrafiltration on postoperative course in neonates with complete transposition of the great arteries undergoing arterial switch operation	Sano S	心臓血管外科
Insect Science 15:225-228, 2008	Short-term cold storage of blowfly Lucilia sericata embryos	Mitsui H	心臓血管外科
形成外科 51:583-588, 2008	糖尿病性足壊疽に対するmaggot debridement therapy (MDT)の1例	三井 秀也	心臓血管外科

小計 17 件

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本皮膚科学会雑誌 118:409-413, 2008	糖尿病性潰瘍・壊疽に対するMaggot Therapy	三井 秀也	心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌 17:489-494, 2008	閉塞性動脈硬化症における血液凝固系の検討	佐野 俊二	心臓血管外科
Acta Med Okayama 62(3):185-191, 2008	Novel Magnetic Resonance Imaging Evaluation for Valgus Instability of the Knee Caused by Medial Collateral Ligament Injury.	Abe N	整形外科
Acta Med Okayama 62(5):333-339, 2008	The Minimally Invasive Plate Osteosynthesis (MIPO) Technique with a Locking Compression Plate for Femoral Lengthening.	Endo H	整形外科
Clin Orthop Relat Res 466:1726-1733, 2008	Photodynamic Therapy with ATX-S10·Na(Ⅱ) Inhibits Synovial Sarcoma Cell Growth.	Kunisada T	整形外科
European Journal of Radiology 68S:S18-S21, 2008	X-ray dark field imaging of human articular cartilage : Possible clinical application to orthopedic surgery.	Kunisada T	整形外科
Spine 33(6):620-623, 2008	Midterm Results of Prostaglandin E1 treatment in patients with Lumbar Spinal Canal Stenosis Accompanied by Intermittent Claudication.	Tanaka M	整形外科
Spine 33(13):1465-1469, 2008	Application of Laminar Screws to Posterior Fusion of Cervical Spine : Measurement of the Cervical Vertebral Arch Diameter with a Navigation System.	Tanaka M	整形外科
形成外科 51:203-209, 2008	性同一性障害に対する乳房切除後の経験 第2報：下垂乳房に対する治療	難波 祐三郎	形成外科
MB Orthop 21:122-128, 2008	整形外科手術に役立つ皮弁とそのコツ	難波 祐三郎	形成外科
Acta Medica Okayama 62:213-216, 2008	Phantom Erectile Penis After Sex Reassignment	難波 祐三郎	形成外科
Orthopaedics 122-133, 2008	遊雄皮弁・皮弁・中核皮弁, その他の穿通枝皮弁	難波 祐三郎	形成外科
産婦人科手術 19:131-140, 2008	腹壁創の縫合と管理—整容的な腹壁の縫合法— 一系の選択, 手技, 抜糸後のケア, 超肥満者の対応など	木股 敬裕	形成外科
日本マイクロサージャリー学会誌 21:294-299, 2008	腓骨頭移植による上腕骨再建	木股 敬裕	形成外科
形成外科 増刊号：250-254, 2008	早期運動治療法を取り入れた袋型陰圧閉鎖療法	長谷川健二郎	形成外科
形成外科 51:1197-1204, 2008	性同一性障害に対する造陰術の経験	難波 祐三郎	形成外科
J Reconstr Microsurg 24(8):537-543, 2008	A Nobel Model For Supermicrosurgery Training : the superficial inferior epigastric artery flap in rats	山下 修二	形成外科

小計 17 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Med. okayama 62:415-419, 2008	Vaginoplasty With a Pudental-Thigh Flap in Intersexuals	難波 祐三郎	形成外科
日本手の外科学会雑誌 25:252-256, 2008	指尖部損傷に対する早期運動療法を取り入れた袋型陰圧閉鎖療法	長谷川健二郎	形成外科
PEPARES 22:60-65, 2008	United Stay Suture法によるリンパ管静脈吻合とリンパ管静脈吻合術の有効性	長谷川健二郎	形成外科
Lippincott Willams & Wilkins, Philadelphia: 1150-1151, 2008	Microvascular and Pedicled Anterolateral Thigh Flap for Abdominal Wall Reonstrction	木股 敬裕	形成外科
標準形成外科学, 秦維 郎, 野崎幹弘編: 66-68, 2008	マイクロサージャリー (微小血管外科) 基本手技	木股 敬裕	形成外科
A new light for minimally invasive surgery 草野満夫編: 313-325, 2008	リンパ浮腫患者におけるICG蛍光リンパ管造影のパターンと手術業績の比較検討	木股 敬裕	形成外科
Cancer Immunol Immunother 2008:57:1429-37.	Induction of immune response against NY-ESO-1 by CHP-NY-ESO-1 vaccination and immune regulation in a melanoma patient.	Tsuji K	皮膚科
Eur J Dermatol. 2008:18:499-503.	Tracing of the molecular remnants of herpes virus infections in necrotic skin tissue.	Yamamoto T	皮膚科
Arch Dermatol. 2008:144:643-48	Karyotypic analysis of bone marrow cells in pyodermic lesions associated with myelodysplastic syndrome.	Hamada T	皮膚科
Eur J Dermatol. 2008:18:74-77.	Leukocyte common antigen-negative, aggressive cutaneous anaplastic large cell limphoma with prominent pseudocarcinomatous hyperplasia.	Iwatsuki K	皮膚科
Eur J Dermatol. 2008:18:719-21.	Re-evaluation of CD34-negative dermatofibrosarcoma protuberans with a highly sensitive, tyramide-based immunohistochemical analysis.	Iwatsuki K	皮膚科
J Dermatol. 2008:35:594-97	Gangrenous staphylococcal infections localized on the lesions of acquired reactive perforating collagenosis.	Iwatsuki K	皮膚科
Eur J Dermatol. 2008:18:725-26.	Pustular psoriasis induced by terbinafine: differential diagnosis from acute generalized exanthematous pustulosis.	Iwatsuki K	皮膚科
Behav Brain Funct.; 4:37, 2008	he Frizzled 3 gene is associated with methamphetamine psychosis in the Japanese population	Kuroda S	精神科神経科
Biol Psychiatry. 63(2):191-6, 2008	The dysbindin gene (DTNBP1) is associated with methamphetamine psychosis	Kuroda S	精神科神経科
Ann N Y Acad Sci. 1139: 43-8, 2008	Association study between casein kinase 1 epsilon gene and methamphetamine dependence	Kuroda S	精神科神経科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 147(1):54-8, 2008	The glycine transporter 1 gene (GLYT1) is associated with methamphetamine-use disorder	Kuroda S	精神科神経科

小計 17 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry Res. 157(1-3):315-318, 2008	Clinical characteristics of patients with gender identity disorder at a Japanese gender identity disorder clinic	Kuroda S	精神科神経科
Neurosci Lett. 434(1):88-92, 2008	Reduced CYP2D6 activity is a negative risk factor for methamphetamine dependence	Kuroda S	精神科神経科
Psychopharmacology, 201:229-235, 2008	Antipsychotic possessing antidepressive efficacy increase Golf protein in rat striatum	Kuroda S	精神科神経科
J Clin Psychiatry. 69(6):1416-22, 2008	Multiple genetic factors in olanzapine-induced weight gain in schizophrenia patients: a cohort study	Kuroda S	精神科神経科
Acta Neuropathol (Berl) 116(1):57-66, 2008	Glial clusters and perineuronal glial satellitosis in the basal ganglia of neurofibromatosis type 1	Kuroda S	精神科神経科
Alzheimer's Disease Research Journal 1 (3): 169-192, 2008	Early onset dementia with abundant non-neuritic Aβ plaques and without significant neurofibrillary changes: report of two Japanese autopsy cases	Kuroda S	精神科神経科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 147(3):392-6, 2008	Replication study and meta-analysis of the genetic association of GRM3 gene polymorphisms with schizophrenia in a large Japanese case-control population	Ujike H	精神科神経科
Ann N Y Acad Sci. 1139:49-56, 2008	Short allele of 5-HTTLPR as a risk factor for the development of psychosis in Japanese methamphetamine abusers	Ujike H	精神科神経科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 147B(7):1040-6, 2008	Association study between polymorphisms in glutathione-related genes and methamphetamine use disorder in a Japanese population	Ujike H	精神科神経科
Hum Mol Genet.;17(20):3212-22, 2008	Identification of YWHAE, a gene encoding 14-3-3ε, as a possible susceptibility gene for schizophrenia	Ujike H	精神科神経科
Schizophr Res. 101(1-3):1-8, 2008	Failure to replicate the association between NRG1 and schizophrenia using Japanese large sample	Ujike H	精神科神経科
Psychiatr Genet. 18(5):255-6, 2008	Replication study for associations between polymorphisms in the CLDN5 and DGCR2 genes in the 22q11 deletion syndrome region and schizophrenia	Ujike H	精神科神経科
Ann N Y Acad Sci. 1139:57-62, 2008	Association study of the calcineurin A gamma subunit gene (PPP3CC) and methamphetamine-use disorder in a Japanese population	Ujike H	精神科神経科
Ann N Y Acad Sci. 1139:63-69, 2008	Glutamate cysteine ligase modifier (GCLM) subunit gene is not associated with methamphetamine-use disorder or schizophrenia in the Japanese population	Ujike H	精神科神経科
Ann N Y Acad Sci. 1139:70-82, 2008	Alpha4 and beta2 subunits of neuronal nicotinic acetylcholine receptor genes are not associated with methamphetamine-use disorder in the Japanese population.	Ujike H	精神科神経科

小計 15 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann N Y Acad Sci. 1139:83-88, 2008	Prostate apoptosis response 4 gene is not associated with methamphetamine-use disorder in the Japanese population	Ujike H	精神科神経科
Psychiatry Clin Neurosci. 62(2):239-40, 2008	Large-scale case-control study of a functional polymorphism in the glutamate receptor, metabotropic 3 gene in patients with schizophrenia	Ujike H	精神科神経科
Neurosci Lette.;435(3):194-7, 2008	Association of polymorphisms in the haplotype block spanning the alternatively spliced exons of the NTNG1 gene at 1p13.3 with schizophrenia in Japanese populations	Ujike H	精神科神経科
Schizophr Res. 101(1-3):9-16, 2008	A polymorphism of the metabotropic glutamate receptor mGluR7 (GRM7) gene is associated with schizophrenia	Ujike H	精神科神経科
Arch Gen Psychiatry. 65(3):345-55, 2008	Genome-wide association for methamphetamine dependence: convergent results from 2 samples.	Ujike H	精神科神経科
J Clin Psychiatry. May;69(5): 863-4, 2008	Intrinsic activity of aripiprazole is not 30% of dopamine, but only about 6% under ideal antipsychotic therapy	Kodama M	精神科神経科
Am J Gastroenterol 103(4):1011-, 2008	Factors predictive of survival after percutaneous endoscopic gastrostomy in the elderly: Is dementia really a risk factor?	Kuroda S	精神科神経科
Acta Neuropathol (Berl) 116(1):57-66, 2008	Glial clusters and perineuronal glial satellitosis in the basal ganglia of neurofibromatosis type 1	Kuroda S	精神科神経科
Alzheimer's Disease Research Journal 2 (2): 99-118, 2008	Person-centered approach: a potential therapeutic alternative for patients with frontotemporal dementia	Kuroda S	精神科神経科
精神医学 50(9):923, 2008	認知症高齢者の褥創に対するラップ療法	黒田 重利	精神科神経科
Journal of Stroke & Cerebrovascular Disease 17(5)Supplement 1:S92, 2008	Endovascular treatment for ruptured cerebral aneurysms in elderly patients.	Sugiu K	脳神経外科
Acta Neurochir Suppl 104:215-218, 2008	Continuous evaluation of regional oxygen saturation in cerebral vasospasm after subarachnoid haemorrhage using INVOS® portable near infrared spectrography.	Ono S	脳神経外科
Acta Neurochir Suppl 104:69-73, 2008	Effect of deferoxamine-activated hypoxia inducible factor-1 on the brainstem following subarachnoid haemorrhage.	Ono S	脳神経外科
Molecular therapy 16(8);1382-1391, 2008	Oncolytic HSV-1 infection of tumors induces angiogenesis and upregulates CYR61.	Kurozumi K	脳神経外科
BRAIN RESEARCH 1203:189-196, 2008	Intrapallidal metabotropic glutamate receptor activation in a rat model of Parkinson's disease: Behavioral and histological analysis.	Agari T	脳神経外科
Rejuvenation Res 11:201-214, 2008	Dietary supplementation exerts neuroprotective effects in ischemic stroke model.	Yasuahra T	脳神経外科

小計 16 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cereb Blood Flow Metabolism 28:1804-1810, 2008	Intravenous grafts recapitulate the neurorestoration afforded by intracerebrally delivered multipotent adult progenitor cells in neonatal hypoxic-ischemic rats.	Yasuahra T	脳神経外科
Neurosurgery 62(1):232-241, 2008	Effects of deferoxamine-activated hypoxia-inducible factor-1 on the brain stem after subarachnoid hemorrhage in rats.	Hishikawa T	脳神経外科
Brain Res 1234:172-182, 2008	Embryonic neural stem cells transplanted in middle cerebral artery occlusion model of rats demonstrated potent therapeutic effects, compared to adult neural stem cells.	Yasuahra T	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo) 48(3):118-120, 2008	Fenestration of the supraclinoid internal carotid artery with associated aneurysm.	Ono S	脳神経外科
Acta Neurochir Suppl 104:161-163, 2008	Direct protein transduction method to cerebral arteries by using 11R: new strategy for the treatment of cerebral vasospasm after subarachnoid haemorrhage.	Ono S	脳神経外科
Acta Neurochir Suppl 104:165-167, 2008	Endothelia nitric oxide synthase-11R protein therapy for prevention of cerebral vasospasm in rats: a preliminary report.	Ono S	脳神経外科
Journal of Neurosurgery 108(1):149-159, 2008	Comparison of the therapeutic potential of adult and embryonic neural precursor cells in a rat model of Parkinson disease.	Yasuahra T	脳神経外科
BioMedCentral Neurosciences 9:75, 2008	Neuroprotective effects of edaravone-administration on 6-OHDA-treated dopaminergic neurons.	Yasuahra T	脳神経外科
脳卒中の外科 36:12-18, 2008	内頸動脈海綿静脈洞部巨大・大型動脈瘤に対する複合治療.	伊達 勲	脳神経外科
小児の脳神経 33(1):51-53, 2008	神経管癒合不全の最新の画像診断と神経内視鏡の応用.	伊達 勲	脳神経外科
脳神経外科 36(1):45-49, 2008	Microvascular decompression for trigeminal neuralgia in older patients.	上利 崇	脳神経外科
岡山医学会雑誌 120:153-157, 2008	中枢神経疾患に対する成体由来神経幹細胞移植.	安原 隆雄	脳神経外科
新薬と臨床 57(12):1987-1993, 2008	頸動脈ステント留置術と抗血小板療法	杉生 憲志	脳神経外科
脳腫瘍の外科—基本と挑戦—甲村編、メディカ出版、大阪、pp93-100, 2008	脳腫瘍術前運動functional MRI (fMRI) と術中運動野マッピングの比較検討.	市川 智継	脳神経外科
Pediatr Int 2009 Jun;51(3):399-404 Epub 2008 Oct 21	Preoperative management for tricuspid regurgitation in hypoplastic left heart syndrome.	Morishima T	小児科
Cancer Immun 2008 Nov 13;8:15	Identification of the HERV-K gag antigen in prostate cancer by SEREX using autologous patient serum and its immunogenicity.	Morishima T	小児科
Brain Dev 2009 Feb;31(2):158-62 Equib 2008 Jul21	Callosal lesions and delirious behavior during febrile illness.	Morishima T	小児科

小計 17 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Bone Miner Metab 2008;26(4):394-9 Equb 2008 Jul 4	Impaired pyridinoline cross-link formation in patients with osteogenesis imperfecta.	Morishima T	小児科
Pediatr Neurol 2008 Feb;38(2):111-7	Subacute encephalopathy: clinical features, laboratory data, neuroimaging, and outcomes.	Morishima T	小児科
Pediatr Int 2008 Jun;50(3):388-91	Longitudinal analysis of Epstein-Barr virus-associated illness.	Morishima T	小児科
Pediatr Infect Dis J 2008 May;27(5):384-9	Prognostic Factors in Influenza-associated encephalopathy.	Morishima T	小児科
Pediatr Int 2008 Feb;50(1): 138-40	Guidelines for care of pregnant women carrying hepatitis C virus and their infants.	Morishima T	小児科
Pediatr Transplant 2008 Aug;12(5):588-92 Equb 2008 Feb 6	Two cases of chronic active Epstein-Barr virus infection in which EBV-specific cytotoxic T lymphocyte was induced after allogeneic bone marrow transplantation.	Morishima T	小児科
Inflamm Bowels Dis 31:396-400, 2008	Thalidomide for treatment of intestinal involvement of juvenile-onset Behcet disease.	Yasui K	小児科
Arthritis Rheum 58:864-868, 2008	Anakinra improves sensory deafness in a Japanese patient with Muckle-Wells syndrome, possibly by inhibiting the cryopyrin inflammasome.	Yasui K	小児科
Anticancer research 28:159-164, 2008	Expression of the serine protease hepsin and clinical outcome of human endometrial cancer	Nakamura K	産科婦人科
Acta Med Okayama 62:93-99, 2008	Adverse effects of advanced glycation end products on embryonal development	Kamada Y	産科婦人科
Oncology reports 19:1085-1091, 2008	Secretory leukoprotease inhibitor inhibits cell growth through apoptotic pathway on ovarian cancer	Nakamura K	産科婦人科
Int J Gynecol Cancer 18:1037-1041, 2008	Phase I study of weekly nedaplatin and concurrent pelvic radiotherapy as adjuvant therapy after radical surgery for cervical cancer	Kodama J	産科婦人科
Acta Medica Okayama 62:251-259, 2008	Immunohistochemical evaluation of insulin-like growth factor I receptor status in cervical cancer specimens	Hongo A	産科婦人科
Int J Gynecol Cancer 18:1300-1304, 2008	Phase I study of chemoradiation with nedaplatin and ifosfamide in patients with advanced squamous cell carcinoma of the uterine cervix	Kodama J	産科婦人科
Int J Mol Med. 22,389-397, 2008	Hepsin inhibits the cell growth of endometrial cancer	Nakamura K	産科婦人科
International Journal of Oncology 34:345-353, 2009	Expression of hepatocyte growth factor activator inhibitors (HAI-1 and HAI-2) in ovarian cancer	Nakamura K	産科婦人科
Annals of Oncology 20:63-70, 2009	Hepatocyte growth factor activator inhibitor-2 (HAI-2) is a favorable prognosis marker and inhibits cell growth through the apoptotic pathway in cervical cancer	Nakamura K	産科婦人科

小計 17 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrine Journal 56:157-160, 2009	Effects of growth hormone reduction in a patient with polycystic ovary syndrome complicated with acromegaly	Kamada Y	産科婦人科
Anticancer Research 29:1685-1690, 2009	Expression of matriptase and clinical outcome of human endometrial cancer	Nakamura K	産科婦人科
International journal of oncology 35:239-248, 2009	The role of hepatocyte growth factor activator inhibitor-1 (HAI-1) as a prognostic indicator in cervical cancer	Nakamura K	産科婦人科
Ann Nucl Med. 22:157-63, 2008	Preliminary retrospective investigation of FDG-PET/CT timing in follow-up ablated lung tumor.	Higaki F	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 19:706-11, 2008	Repeat radiofrequency ablation for local progression of lung tumors: does it have a role in local tumor control?	Higaki F	放射線科
J Endocrinol 197:159-169, 2008	Involvement of bone morphogenetic protein-4 in GH regulation by octreotide and bromocriptine in rat pituitary GH3 cells	Miyoshi T	検査部
J Endocrinol 199:445-455, 2008	Bone morphogenetic protein 6 (BMP6) and BMP7 inhibit estrogen-induced proliferation of breast cancer cells by suppressing p38 mitogen-activated protein kinase activation	Miyoshi T	検査部
Endocrinology 149:2816-2825, 2008	Aldosterone breakthrough caused by chronic blockage of angiotensin II type 1 receptors in human adrenocortical cells: possible involvement of bone morphogenetic protein-6 actions	三好 智子	検査部
日本化学療法学会雑誌 56:543-561, 2008	各種抗菌薬に対する2004年臨床分離好気性グラム陽性球菌および嫌気性菌の感受性サーベイランス	草野 展周	検査部
日本化学療法学会雑誌 56:562-579, 2008	各種抗菌薬に対する2004年臨床分離好気性グラム陰性菌の感受性サーベイランス	草野 展周	検査部
日本小児循環器学会雑誌 24: 145-146, 2008	動脈スイッチ術後肺動脈狭窄に対するカテーテル治療の問題点：術者が認識しておくべきことは？	赤木 禎治	循環器疾患集中治療部
Dig Endosc. 2009 Jan;21(1): 14-9.	Novel chromoendoscopic method using an acetic acid-indigocarmine mixture for diagnostic accuracy in delineating the margin of early gastric cancers.	Yoshiro Kawahara	光学医療診療部
Endocrine Journal 55:565-573, 2008	Circulating leptin and angiogenic factors in preeclampsia patients	Masuyama H	周産母子センター
Acta Obstetrica et Gynecologica Scandinavica 87:1322-1328, 2008	Relation between neonatal jaundice and oncostatin M, hepatocyte growth factor and soluble gp130 levels in umbilical cord	Masuyama H	周産母子センター
周産期医学 38:1383-1387, 2008	心内膜床欠損症	住田 由美	周産母子センター
日本遠隔医療学会雑誌 4: 297-298, 2008	携帯電話メール機能を用いたEMA (Ecological Momentary Assessment) による在宅末期癌患者の遠隔在宅管理システムの構築	岡田 宏基	総合患者支援センター

小計 16 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本遠隔医療学会雑誌 4: 343-344, 2008	TV電話機能付携帯電話に特化したTV会議システムの開発	岡田 宏基	総合患者支援センター
協調とモバイル (DICOMO2008)シンポジウム論文集 723-728, 2008	遠隔医療用TV会議システムにおける重畳フレーム番号の識別率評価	岡田 宏基	総合患者支援センター
医療情報学 28(Suppl):833-836, 2008	TV電話機能付携帯電話とTV会議システムを利用した遠隔医療システム-総務省SCOP E-C研究成果報告-	岡田 宏基	総合患者支援センター
Int J Cancer, 122(11):2628-2633, 2008	Combination of oncolytic adenovirotherapy and Bax gene therapy in human cancer xenografted models. Potential merits and hurdles for combination therapy	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Oncogene, 27(17):2375-2381, 2008	Virus-mediated oncolysis induces danger signal and stimulates cytotoxic T-lymphocyte activity via proteasome activator upregulation.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Front Biosci, 13:1881-1886, 2008	Diagnostic and therapeutic application of telomerase-specific oncolytic adenoviral agents.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Cancer Sci, 99(2):385-390, 2008	Establishment of biological and pharmacokinetic assays of telomerase-specific replication-selective adenovirus	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Cancer Gene Ther, 15:315-322, 2008	Direct and distant antitumor effects of a telomerase-selective oncolytic adenoviral agent, OBP-301, in a mouse prostate cancer model.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Gene Ther., 15:1233-1239, 2008	Autophagy-inducing agents augment the antitumor effect of telomerase-selective oncolytic adenovirus OBP-405 on glioblastoma cells.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Cancer Sci. 99:1528-1538, 2008	Understanding and exploiting hTERT promoter regulation for diagnosis and treatment of human cancers.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
J. Immunol., 182(3):1763-1769, 2009	A novel antiangiogenic effect for telomerase-specific virotherapy through host immune system.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Mol Cancer Ther, 8(1):171-177. 2009	Telomerase-specific virotherapy in animal model of human head and neck cancer.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Biotherapy, 22(2):87-95, 2008	微小リンパ節転移を標的とするテロメラーゼ特異的腫瘍融解ナノバイオウイルス製剤によるイメージングシステムおよび治療法の開発	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター
癌の臨床, 54(3):163-168, 2008	制限増殖型アデノウイルス製剤を用いた、消化器癌微小リンパ節転移の診断、および治療への応用。	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター
Medical Science Digest, 34(2):6-7, 2008	微小癌転移のin vivoイメージング技術	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター
ウイルス, 58(1):11-18, 2008	テロメラーゼ活性を標的とした悪性腫瘍に対するウイルス療法の開発。	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター
がん分子標的治療, 6(3):22-29, 2008	ウイルスによる細胞死とがん治療への応用	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター

小計 17 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Frontier, 10:49-56, 2008	テロメラーゼ活性を標的とした腫瘍融解ウイルスのがん診断・治療への応用	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター
岡山医学会雑誌, 120:321-327, 2008	がんに対する遺伝子治療の現況と展望	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター
岡山医学会雑誌, 120:259-264, 2008	腫瘍融解ウイルスによる細胞死であるオンコライシスは細胞内にdanger signalを発生させ、プロテアソームアクチベーター(PA28)発現を増強することで細胞障害性Tリンパ球による免疫応答を活性化する。	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター
接着歯学, 26:106-111, 2008	セルフアドヒーシブルコーティングセメントの練和方法がセラミックスとの接着強さに及ぼす影響	阿保 備子	むし歯科
PLoS One. 3(7):e2611, 2008	Periodontal tissue regeneration using fibroblast growth factor-2: randomized controlled phase II clinical trial.	Takashiba S	歯周科
Supportive Care in Cancer. 16(10):1197-1200, 2008.	Evaluation of xerostomia in hematopoietic cell transplantation by a simple capacitance method device.	Soga Y	歯周科
Supportive Care in Cancer. 16(4):421-424, 2008.	Antimicrobial effects of the saliva substitute, Oralbalance, against microorganisms from oral mucosa in the hematopoietic cell transplantation period.	Soga Y	歯周科
Journal of Periodontology. 79(1):181-186, 2008.	Appearance of multidrug-resistant opportunistic bacteria on the gingiva during leukemia treatment.	Soga Y	歯周科
Journal of Clinical Periodontology. 35(4): 317-323, 2008.	Polymorphisms in the 5' flanking region of IL12RB2 are associated with susceptibility to periodontal diseases in the Japanese population.	Takeuchi-Hatanaka K	歯周科
FEMS Microbiological Letters. 287(1):69-75, 2008.	Distribution of Archaea in Japanese patients with periodontitis and humoral immune response to the components.	Maeda H	歯周科
FEMS Immunological Medicine and Microbiology. 53(3):314-321, 2008.	Rapid and simple detection of eight major periodontal pathogens by the loop-mediated isothermal amplification method.	Maeda H	歯周科
岡山歯学会雑誌, 27巻2号, 105-113, 2008年	サポータティブペリオドンタルセラピーおよびメンテナンスによる歯周病の再発防止と進行抑制の効果に関する統計学的検討	成石 浩司	歯周科
日本口腔検査学会雑誌, 1巻1号: 13-19, 2009年	歯周病スクリーニング検査としての歯周病原細菌に対する指先血漿IgG抗体価の有用性	成石 浩司	歯周科
Osteoarthritis and Cartilage 16(7):787-795, 2008	CCN family 2/connective tissue growth factor (CCN2/CTGF) stimulates proliferation and differentiation of auricular chondrocytes.	Fujisawa T	補綴科 (クラウン・リッジ)
Clin Oral Implants Res. 19(3):320-325, 2008	Effect of polyphosphoric acid pre-treatment of titanium on attachment, proliferation, and differentiation of osteoblast-like cells (MC3T3-E1).	Maekawa K	補綴科 (クラウン・リッジ)
The International Journal of Prosthodontics 21(4):292-298	Relationship between the frequency of sleep bruxism and the prevalence of signs and symptoms of temporomandibular disorders in an adolescent population.	Nagamatsu-Sakaguchi C	補綴科 (クラウン・リッジ)

小計 16 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Endodontics 34(2):166-171, 2008	Characterization of Apical Papilla and its Residing Stem Cells from Human Immature Permanent Teeth - A Pilot Study.	Sonoyama W	補綴科 (クラウン・リッジ)
Molecular Pain 24;4:66, 2008	Altered ATP release and metabolism in dorsal root ganglia of neuropathic rats.	Matsuka Y	補綴科 (クラウン・リッジ)
Journal of Oral Rehabilitation 36(5):362-367, 2009	Polyphosphoric acid treatment promotes bone regeneration around titanium implants.	Maekawa K	補綴科 (クラウン・リッジ)
Journal of Endodontics 35(3):367-72, 2008	Simvastatin induces the odontogenic differentiation of human dental pulp stem cells (DPSCs) in vitro and in vivo.	Kuboki T	補綴科 (クラウン・リッジ)
The Journal of Biochemistry 145(2):207-216, 2009	CCN family 2/connective tissue growth factor modulates BMP signaling as a signal conductor, which action regulates the proliferation and differentiation of chondrocytes.	Kuboki T	補綴科 (クラウン・リッジ)
生物学における試験論叢 23:31-39, 2008	三叉神経痛において生じている神経節細胞過敏化のメカニズムの解明と治療法開発	松香 芳三	補綴科 (クラウン・リッジ)
Journal of Dentistry 36(10):767-773, 2008	The Quasi-3D Marginal Leakage of Full-coverage Crowns: Resin Coating Method Vs Sodium Hypochlorite Treatment.	Kuboki T	補綴科 (クラウン・リッジ)
Journal of Oral Rehabilitation, 2008 May;35(5):361-9.	The effect of nasal speaking valve on the speech under experimental velopharyngeal incompetence condition.	Suwaki M	補綴科 (咬合・義歯)
Dental Materials Journal, 2008 Nov;27(6):842-8.	Ultrasonic cleaning of silica-coated zirconia influences bond strength between zirconia and resin luting material.	Nishigawa G	補綴科 (咬合・義歯)
Craniofacial Surgery. 36(1):8-10, 2008	Dialectal and gender differences in nasalance scores in a Japanese population.	Mishima K.	口腔外科 (再建系)
Craniofacial Surgery. 36(1):11-14, 2008	Relationships between nasalance scores and nasopharyngeal shapes in cleft palate patients.	Mishima K.	口腔外科 (再建系)
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 20(1):24-27, 2008	Respiratory status during sleeping after orthognathic surgery with mandibular setbacks.	Yamada T.	口腔外科 (再建系)
Acta Histochem 110(3):217-23, 2008	Histological comparison of bone induced from autogenously grafted periosteum with bone induced from autogenously grafted bone marrow in the rat calvarial defect model.	Ueno T.	口腔外科 (再建系)
Oral and Maxillofacial Surgery. 12:177-180, 2008	Mandibular stability after SSRO with or without post-operative maxillo-mandibular fixation for class III malocclusion.	Yamada T.	口腔外科 (再建系)
Anticancer Res 28, 2343-2348 2008	Clinical significance and pathogenic function of connective tissue growth factor (CTGF/CCN2) in osteolytic mandibular squamous cell carcinoma.	Shimo T	口腔外科 (病態系)
Oral Science International (2008) 5, 1-14.	Possible involvement of p38 MAP kinase in retinoid-stimulated expression of indian hedgehog in prehypertrophic chondrocytes.	Shimo T	口腔外科 (病態系)
日本口腔科学会雑誌 (2008) 57, 47-53.	口腔扁平上皮癌における術前放射線化学療法の効果の臨床病理学的検討.	岸本 晃治	口腔外科 (病態系)

小計 17 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Res (2008) 68, 1625-1630.	骨微小環境を再現した口腔癌の骨浸潤能評価モデルの開発に関する研究.	小野 亜希子	口腔外科 (病態系)
Acta Med Okayama 62, 37-44, 2008	Phase I trial of escalating-dose cisplatin with 5-fluorouracil and concurrent radiotherapy in Chinese patients with esophageal cancer.	浅海 淳一	歯科放射線・ 口腔診断科
Dentomaxillofac Radiol 37, 340-3, 2008	Evaluation of panoramic radiographs taken at the initial visit at a department of paediatric dentistry.	浅海 淳一	歯科放射線・ 口腔診断科
岡山歯学会雑誌 27, 99-104, 2008	岡山大学歯学部口腔領域悪性腫瘍患者におけるFDG-PET検査の有用性に関する検討.	久富 美紀	歯科放射線・ 口腔診断科

小計 4 件

合計 280 件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 森田 潔
管理担当者氏名	総務課長 妹尾 行恭, 医事課長 志茂 弘明, 各診療科長, 放射線部長 金澤 右, 医療情報部長 太田 吉夫 薬剤部長 千堂 年昭, 看護部長 保科 英子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			
病院日誌		総務課	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式として保管している。 X線写真は、1患者1ファイル方式で保管している。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。
各科診療日誌, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 医療情報部 医事課	
処方せん		薬剤部	
エックス線写真		放射線部	
病院の管理及び運営に関する諸記録			
	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
確規 保則 の第 状9 況条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の 管理及 び運営 に関する 諸記 録	規則	院内感染のための指 針の策定状況	感染制御部
	第1条	院内感染対策のため の委員会の開催状況	総務課 医事課
	の11	従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況	感染制御部
	11各号に掲げる	感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善のための方策の 実施状況	感染制御部 医事課 総務課
	体制	医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	総務課
	確保	従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	薬剤部
	状況	医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善のための方策の 実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	総務課
		従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況	医療機器安全管理室
	医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室	
	医療機器の安全使用 のために必要となる情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	医療機器安全管理室 医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者	事務部長 長島 一博
閲覧担当者氏名	総務課長 妹尾 行恭
閲覧の求めに応じる場所	管理棟研究棟3階小会議室（病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所）

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.7 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,857 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,976 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		996 人
	D: 初診患者の数		27,045 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊥ (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊥ (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊥ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1 2) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止委員会の運営に関する事。 ・ 医療事故防止対策の立案に関する事。 ・ 医療事故・ニアミス報告の分析に関する事。 ・ リスクマネジャーとの連絡調整に関する事。 ・ 安全管理に関する教育・研修の企画運営に関する事。 ・ その他医療事故の防止・医療の安全性の向上に関する事。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊥ ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊥ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理に関する基本的な考え方 ・ 安全管理の体制確保のための委員会の組織規約 ・ 医療事故発生時の対応方法 ・ 各部門ごとの安全管理マニュアル ・ 患者からの相談への対応に関する基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故の防止及びその対策に関する事。 ・ 医療事故防止マニュアルの作成に関する事。 ・ 医療事故防止の教育・研修に関する事。 ・ その他医療事故の防止に関する事。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者をまもる・医療者をまもる医療安全 ・ 医薬品の安全使用について ・ MRI 検査の安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者をまもる・医療者をまもる医療安全パート 2 ・ 薬物アレルギーの防止と早期発見に向けて ・ 注入ポンプの正しい使い方 ・ 病院職員のための心肺蘇生法－AED使えますか？－ 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊥ ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> マニュアル整備, インシデントレポートシステム, リスクマネジャー配置, 医療事故等調査委員会, 院内研修, 院内相互チェック実施 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	☑ ・ 無									
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染対策に関する基本的考え方 2) 委員会について 3) 感染制御部の業務内容 4) 院内感染対策のための職員教育および研修 5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 6) 院内感染発症時の対応に関する基本方針 7) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8) その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 										
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 57 回									
<p>・ 活動の主な内容：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">感染予防対策委員会</td> <td style="padding-right: 20px;">1回/月</td> <td>合計12回</td> </tr> <tr> <td>ICT全体会議</td> <td>1回/月</td> <td>合計12回</td> </tr> <tr> <td>感染制御部スタッフ会議</td> <td>2回/月</td> <td>合計22回</td> </tr> </table> <p>以上3委員会はそれぞれ連携して以下の活動をする</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス ② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理 ③ 抗菌薬使用の管理 ④ ICT との連携 ⑤ 重症感染症および特殊感染症の診断および治療に関するコンサルテーション ⑥ 感染予防対策に関する教育および研修の企画運営 ⑦ 針刺しおよび体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応および予防対策の立案指導 ⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導（結核、流行性疾患など） ⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導 ⑩ その他感染予防対策上の問題に関与する。 <p>看護部感染対策委員会 1回/月 合計11回</p> <p>手指衛生のコンプライアンスの測定と改善 感染防止の視点からの看護手順の作成 医療廃棄物の適切な処理の状況把握と指導</p>		感染予防対策委員会	1回/月	合計12回	ICT全体会議	1回/月	合計12回	感染制御部スタッフ会議	2回/月	合計22回
感染予防対策委員会	1回/月	合計12回								
ICT全体会議	1回/月	合計12回								
感染制御部スタッフ会議	2回/月	合計22回								
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 47 回									
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 全職員対象感染対策講習会 2回/年（同じ内容で2回ずつ：計4回） <ol style="list-style-type: none"> ① Standard Precautions、結核の院内感染予防とトリアージ診療、針刺し事故防止について ② 経路別予防策、小児ウイルス疾患 2) 医師・歯科医師対象感染対策講習会 1回/年（同じ内容で2回：計2回） <ol style="list-style-type: none"> ① 抗菌薬の使用状況、抗菌薬の使用法 3) 新採用者研修 1回/年 4) 中途採用者研修 6回/年 5) 主に看護師対象感染防止技術研修会 年11回 <内容>感染予防対策に関する基本的な事項、Device関連の感染予防策、流行性疾患対策など 6) 部署別手指衛生教育 合計23回 <内容>手指衛生の重要性と方法 										
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況										
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑ ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： その年のスローガンを決め、強化をする。 平成20年度は、手指衛生のコンプライアンスの改善をスローガンとし、手指衛生コンプライアンスの測定と、アルコール手指消毒剤の使用状況をの把握、手指衛生教育の充実や手指衛生に関するポスター展などを行った。</p>										

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑ ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項（対象：薬剤師） ・ 薬剤業務に関わる事故防止対策の周知徹底（対象：薬剤師） ・ 医療事故防止について（対象：新規採用職員オリエンテーション） ・ 医薬品の安全使用について（対象：全職員） ・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応（施設内での報告、行政機関への報告等）に関する事項（対象：医療従事者） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 （ ☑ ・ 無 ） ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の採用・購入に関すること ・ 医薬品の管理に関すること（麻薬を含む。） ・ 患者の持参薬歴情報等の収集、処方せんの記載に関すること ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関すること ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関すること ・ 他施設（病院等、薬局等）との連携に関すること ・ ICUにおける管理に関すること 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ☑ ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内薬剤部ホームページにて、医薬品・医療機器等安全性情報やドラッグインフォメーションを掲載し、周知している。 ・ 薬剤管理指導業務の一環として、病棟にて医療従事者に直接情報を提供している。 ・ リスクマネージャー会議などで事故防止・対策の周知を図っている。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	㊟・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 139 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい医療機器導入時の研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工呼吸器・血液浄化装置・内視鏡装置・生化学自動分析装置・放射線装置 等 ・ 定期研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工心肺装置及び補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置 ・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 等 ・ その他の研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種医療機器の使用法、保守点検等に関する研修 等 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (㊟・無) ・ 保守点検の主な内容： <p>保守点検の計画に従い、日常点検及び定期点検を定期的実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常点検 <ul style="list-style-type: none"> 始業時点検・使用後点検 等 ・ 定期点検 <ul style="list-style-type: none"> 一部の医療機器については、業者へ点検を委託している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (㊟・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>医療機器に係る安全管理体制の確保及び必要な措置を行うため「医療機器安全管理室」を設置し、医療機器の安全使用に関する情報収集及び情報の整理・管理を行い、関係部署への情報提供・院内周知等を行っている。</p> 	